

北条小学校平和宣言

ある夏の日の出来事でした。

それは、よく晴れていて、雲一つなく朝から暑い日差しが照り付けていた日の出来事でした。誰もが明日を信じ、夢を持ち、大切な誰かのことを思いながら、いつもと変わらない毎日を送っていた日の出来事でした。

一瞬で、一発で、すべてを奪う爆弾が空から降ってきたのでした。

私たちはわかりません……。どれだけこわかったか、どれだけ苦しかったか、
どれだけ辛かったか、どれだけ悔しかったか。

想像するけれど、それでも全然足りません。

今生きていることに感謝はするけれど、
どこか遠いところの話のように感じる76年前の出来事です。

でも、それで終わらせてはいけません。

もし、自分のおじいちゃんやおばあちゃんのところに落ちていたら…自分は今存在しなかったかもしれない。そう考えることで、私たちは76年前の出来事を自分のこととしてこれからも考え続けていきます。

もう二度と繰り返してはいけない。　もう誰の上にも落としてはいけない。

もう明日を夢見ることを奪ってはいけない。　もう大切な誰かを悲しませてはいけない。

あの日、あの時、本当は生きたかった人たちのために、私たちは今の平和を守り続けるため、何が平和なのかを考えました。

平和ということ　それは、だれもが安心して眠れること

それは、自分だけではなく、みんなが笑っていること

それは、いつもどおりの毎日が、明日もくること

そう、平和はすぐそばにあるのです。そして、平和な世界をつくるためには、小さな平和をひろげていけばよいのです。

だからまずは、北条小学校から。

ここでみんなが今より、もっともっと平和になるように、

人と話をするときは、言葉を大切にします。

人にされていやなことは、絶対にしないようにします。

「ありがとう」や「ごめんなさい」をちゃんと伝えます。

そして、その平和が少しずつふくらんで、いつか海をわたり、世界中に広がっていく日がくるまで、そばにいる友だちと力を合わせて平和な北条小学校をつくっていくことを宣言します。

令和3年（2021年）豊中市立北条小学校6年生一同